

交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）メールマガジン



第 31 号（2019.04.22）

発行：交通環境学習メールマガジン事務局

（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）



■目次

1. 寄稿

滋賀県における学校MM教育事業の広がりと今後の展開

【滋賀県土木交通部交通戦略課】

2. 交通環境学習の取組

3. ニュース/トピック

4. イベント、フォーラム、セミナー等の開催内容

5. その他

---

## 1. 寄稿

---

### 滋賀県における学校MM教育事業の広がりと今後の展開

【滋賀県土木交通部交通戦略課】

滋賀県では、人口減少社会においても持続可能な公共交通の確保・維持、活性化を図っていくためには、次の時代に公共交通を利用してくれる世代が幼少期から公共交通の利用方法や特性、必要性などについてしっかり理解し考える「きっかけ」を与えることが重要と考えています。

このため、2016年度から本格的に学校MM教育事業に取り組み始め、2017年度からは公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受けて、「近江の心を育む交通環境学習の普及・検討研究会」（以下「研究会」という）を立ち上げ、滋賀県独自の学校MM授業の構築・拡大を推進しています。

子どもたちの学びを深めるためには、一回きりの授業で終わってしまうのではなく、継続した学習を行っていただくことが重要ですので、研究会では小学2年生から6年生までの縦断的な学習機会を提供することを目指して、教材の作成やモデル授業、サポート体制の構築の検討を行っており、あわせて滋賀県の地域性を活かした学びを提供できるよう琵琶湖を活用した教材づくりも進めているところです。

交通事業者、市町や学校現場等と連携しながら、これらの取組を進めた結果、2016年度には4校、2017年度には9校、2018年度には18校と年々実施校を拡大することができました。

2019年度は学習指導要領が新しくなっていることを受けて、学校現場でより使いやすい事業・教材となるように「どの単元において有効であるか」「どのような授業案があるか」といった事例を増やしていくとともに、「県内のどの地域、学校においても、やりたいという思いがあれば実施できる体制」を構築するなど、県内全域で事業が浸透していくよう工夫していきたいと考えています。

県行政は小学校等の学校教育現場を持っていないという難しい面もありますが、広域自治体という視点をもって、それぞれの地域特性を把握し、様々な工夫をすることで学習の幅を広げていけるのではないかと考えています。今後は、小学生だけではなく、中学生・高校生に向けても、この事業を展開していくことを視野に取組を推進していきたいと考えています。

[http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu\\_mailmaga31.pdf](http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu_mailmaga31.pdf)

---

## 2. 交通環境学習の取り組み

---

### (1) 交通環境学習開催報告

(関東)

- 伊豆箱根バスは1月24日、静岡県のなかいず認定こども園の5才児を対象に交通講和を実施。バスの運転席に座り死角があることを知るなど実際の体験を通して学んだ。

[http://shizuankyou.jp/publics/index/136/detail=1/b\\_id=801/r\\_id=10112/](http://shizuankyou.jp/publics/index/136/detail=1/b_id=801/r_id=10112/)

- 関東鉄道は2月4日に茨城県の神栖市立息栖小学校の2年生約100名を対象に、バスの乗り方教室を実施。バス共通ICカード協会のスタッフが説明を行った。

<https://www.pasmo.co.jp/event/2019/0208000504.html>

- 西東京バスは2月13日に東京都の八王子市立第二小学校、2月19日に八王子市立元八王子東小学校、2月20日に八王子市立長房小学校、2月21日に八王子市立陶鎔小学校でバスの乗り方教室を実施。

<http://www.nisitokyobus.co.jp/nishichun/work.html>

(中部)

- 愛知県の田原市立野田小学校は2月14日、市役所と豊鉄バスを招き、5・6年生を対象に、バスの乗り方教室を実施。整理券の取り方や定期券の見せ方、料金の支払い方を学んだ後、中学校から芸工する際に利用するバス停などを確認。

<http://www.tahara-c.ed.jp/nodasyou-e/index.php?key=jo6q9rbm7-39>

---

### 3. ニュース/トピック

---

#### ■一畑電鉄「子ども電車体験」

一畑電鉄は2019年に2回「子供電車体験教室」を実施。第1回目は5月3日（憲法記念日）、第2回目は7月28日。

<https://www.ichibata.co.jp/railway/newsrelease/201902261652.html>

#### ■バスちびっ子50円キャンペーン

江ノ島電鉄は小学生以下の乗客に対し現金で「小学生です」と自己申告した場合に限り、乗車料金が50円になるキャンペーンを実施する。2019年度は、ゴールデンウィーク（4月27日～5月6日）、夏休み（7/20～9/1）、冬休み（12/25～1/7）、春休み（3/26～4/5）に実施。

<https://www.enoden.co.jp/tourism/ticket/child/>

#### ■横浜市交通局、割引運賃実施

横浜市交通局は長期休暇期間中、小児運賃を市営バス50円、地下鉄を110円に割引する（現金乗車のみ）。平成31年度（2019年度）は、2019年度は、ゴールデンウィーク（4月27日～5月6日）、夏休み（7/20～9/1）、冬休み（12/21～1/5）、春休み（3/21～4/5）に実施。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/koutuu/kigyoo/bus50sub110/>

#### ■京王電鉄 多摩動物公園駅エリア3施設で親子向けイベントを実施

京王電鉄は4月27日～5月6日の大型連休期間中、京王線多摩動物公園駅エリア「キッズパークたまどう」にある「京王あそびの森 HUGHUG 〈ハグハグ〉」「京王れーるランド」「多摩動物公園」の3施設で、親子が楽しめる様々なイベントを実施する。

[https://www.keio.co.jp/news/update/news\\_release/news\\_release2019/nr190411\\_tamadou.pdf](https://www.keio.co.jp/news/update/news_release/news_release2019/nr190411_tamadou.pdf)

#### ■ことでん「新元号記念2daysフリーきっぷ」、 「新元号記念 IruCa」を発売

ことでんでは、新元号「令和」を祝い「記念きっぷ・記念 IruCa」を発売する。記念きっぷは、平成から令和にかけ10日間のうち2日間を指定して利用でき、記念 IruCaは、新元号の発表の瞬間をデザインにしている。

[http://www.kotoden.co.jp/publichtm/kotoden/new/2019/reiwa\\_ticket/index.html](http://www.kotoden.co.jp/publichtm/kotoden/new/2019/reiwa_ticket/index.html)

#### ■クールチョイスラッピングバスを運行

藤沢市は2019年1月まで「COOL CHOICE（クールチョイス）」の一環として、神奈川中央交通と江ノ電バス藤沢の路線バスに、藤沢市独自の「ロゴ」と「キャッチコピー」をラッピングしたバスを運行した。クールチョイスとはパリ協定の目的達成のため地球温暖化に資する「賢い選択」をしていこうという取組み。

[https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kankyou-s/kankyoukeihatsu/coolchoice\\_bus.html](https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kankyou-s/kankyoukeihatsu/coolchoice_bus.html)

#### ■バスの絵画展

堺市は交通や環境について考える総合学習の一環として、小学生を対象に乗車体験などを平成24年度より実施。平成30年度は南海バスの協力により美原北長学校でバスの乗り方教室を実施。さらに、乗り方教室に参加した児童が描いた絵を美原区役所で2月22日から3月1日まで展示した。

[http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/kokyokotsu/bus\\_riyo/joshataiken/df\\_filename\\_764950.html](http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/kokyokotsu/bus_riyo/joshataiken/df_filename_764950.html)

---

#### 4. イベント、フォーラム、セミナー等の開催内容

---

●第 12 回 EST 普及推進フォーラム

日時：2019 年 5 月 13 日（月）13:30～17:00

場所：ルポール麴町 2 階「ロイヤルクリスタル」

主催：EST 普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/forum12.html>

●エコライフ・フェア2019

日時：2019年6月1日（土）2日（日）

場所：代々木公園

主催：環境省

<http://ecolifefair.env.go.jp/>

●日本モビリティ・マネジメント会議

日時：2019年7月19日（金）20日（土）

場所：石川県金沢市、石川県音楽堂

主催：日本モビリティ・マネジメント会議

<https://www.jcomm.or.jp/convention/>

●日本福祉のまちづくり学会 第22回全国大会（東京）

日時：2019年8月8日（木）8月9日（金）

場所：日本大学理工学部駿河台校舎

主催：日本福祉のまちづくり学会

<http://www.fukumachi.net/2019/03/222.html>

●エコプロ2019

日時：2019年12月5日（木）～12月7日（土）

場所：東京ビックサイト

主催：産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2019/>

